

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所理念を法人全体の理念とともに事務所に大きく掲げスタッフはそれを毎日見て意識しています。		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事務所に大きく掲示し、スタッフへの意識付けを行なっています。ミーティングの際にも確認をしています。		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	スタッフ全員で理念を共有してご家族の面会の時や地域の方々との集まりで理念の浸透を図っています。また、玄関にその理念を掲示し訪問された方々にも理解していただけるよう取り組んでいます。		
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	スタッフ全員がご近所の方々に笑顔で挨拶するように努めています。回覧板を回したりおすそ分けをしたりして交流しています。町内の方が開かれた古布の展示会にも訪問させて頂きました。		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に所属し、地域清掃、校区の防災訓練など様々な行事に参加しています。町内会総会にも参加しふれあい家の新聞などを見ながら様子をお話させていただくなどしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	町内会総会や運営推進会議を通していつでも皆様の身近な介護の相談相手となれるような声かけをしています。又、ふれあい新聞を校区の掲示板に張っていただいたり、回覧板で回すなどしていただいたときにそのような告知しています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	ミーティングで前回の評価を確認し改善項目として挙げられていたことを法人全体では個人情報使用の同意書を作成、また、事業所では年二回の避難訓練において1度は夜間想定をなうなどを行っています。		
8 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	20年には3月、9月、21年には2月に運営推進会議を行い、入居者様の生活の様子を報告したり、包括センターから毎回いろいろなお知らせや活動状況の報告がされています。また、町内会や民生委員、ご家族からのお話をお聞きしその思いを汲み取ったサービスを行なおうと日々奮闘しています。		運営推進会議の概ね2ヶ月に1度の定期的な開催に向けて取り組んでいきます。
9 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議がを行なうごとに案内状を包括センターに持参し苑の状況などについてのご相談などさせていただきます。また、城南区の事業者交流会にも参加したり、いろいろな種類の研修性を受け入れるなどを通して行政の方々との接点を持つようになっています。		
10 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	ふれあい会においては定期的に研修が行なわれその中の題材として地域権利福祉用語事業や成年後見について学ぶ機会が作られています。また、区や市で行なわれる研修にスタッフが順番に参加していくようになっています。		
11 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ふれあい会では定期的に虐待防止の研修を開いており、スタッフに意識付けできる機会を作っています。管理者あはミーティングにおいて常に虐待防止をよびかけておりスタッフの入居者様への対応にも気を配っています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
行政の				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の際には十分にご理解いただけるよう、ゆっくりとわかりやすい表現を用いて説明し、疑問点については、当日だけでなくいつでも申し出ていただけるような信頼関係に勤めています。</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>普通の介護の中で常にスタッフは利用者の気持ちを汲み取っていくことを管理者は指導し、その姿勢はスタッフ全員に浸透しています。</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月に1度発行するふれあい通信にてご家族には近況を報告しています。また、ご家族が面会にこられた際には必ず最近の様子をスタッフをご説明することにしてしています。</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関先に意見箱を置きいつでも利用できるようにしています。また、面会時にも随時お聞きするようにしています。</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月に1度の施設ミーティングと運営本部による管理者会議、半年に1度の運営本部責任者によるスタッフ面談その他、必要のあるごとに面談の機会を設け職員の話の吸い上げられる体制を整えています。</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>緊急連絡網を作りスタッフの応援体制を整えています。また、運営本部への相談により柔軟なスタッフ配置を行うようにしています。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>管理者と主要スタッフはこの事業所勤務経験が3年以上あり(5人)利用者とのなじみも深くなっています。また、スタッフ異動についても交代期間を設ける形で対処しています。</p>		
5. 人材の育成と支援				
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>募集、採用に関しては法人の運営本部と管理者が相談の上で行っており、ホームの人員配置についても入居者、スタッフに配慮しバランスをとっています。</p>		
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>運営本部は継続的に身体拘束に廃止についての取組みを続けており常に入居者の人権に配慮した介護を呼びかけています。</p>		
21	<p>職員を育てる取組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は資格取得を奨励しており、評価の対象としています。月に1度の研修を複数行うほか、外部の研修の参加支援も行っています。</p>		
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>複数のホームを運営する法人のn事業所であるため本部にて1ヶ月に1度の数種類の勉強会が開かれています。また、地域の事業者交流会や研修などを通じて他の事業者とも交流できる機会を作っています。</p>		
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>運営本部は年に二回のスタッフ面談を行うほかにも随時相談を受けられる体制を整えています。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>運営本部は人事考課という形で職務への評価を明確に把握するように努めており、各人の努力に相応した評価を行えるような制度作りを行っています。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>利用開始前に、管理者による事前訪問と体験入居を行っています。その時点でご本人の気持ちを十分お聞きするようにしています。</p>		
26	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>初めての相談時からアンケートやヒヤリングにより具体的に相談内容を把握するようにしています。</p>		
27	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご家族からの相談があった際、また、見学にこられた際にお話を聞かせていただき一緒に必要とされているサービスが何であるかを相談させていただいています。</p>		
28	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>体験入居のシステムを作っており、その間はファックスや電話にて毎日家族と連絡を取りながら生活の様子をおつたえし、スムーズにサービスを開始できるようにしています。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>寝食をともにすることで自然に家族のような愛情が育まれています。歌を一緒に歌ったり体操をしたり、昔のお話を聞いて人生を語ったりしながらともに楽しい時間を分かちあっています。</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時にはご家族にスタッフ全員が明るく挨拶し家族に親しんでいただけるように心がけています。また、近況報告も必ず行い入居者様の毎日の生活にご家族が不安をご抱く事の無いように気を配っています。		
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	フェイスシートと家族よりの情報提供書を個人カルテに付け、また事前訪問時よりアセスメントを重ね、スタッフはそれを把握した上で、コミュニケーションをとり、より良い関係に努めております。		
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人が大切にしてきた家具や装飾品などを家族に持参して頂き、また、昔なじみの方の訪問や電話などのお取次ぎもしております。また、以前の趣味を活かしたレクリエーションを行なうなどしています。		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者同士の相性や性格特性をスタッフが把握し、上手に取り持つように心掛けております。		
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	医療つき施設(老健等)に移動した方についても、スタッフが時折面会などにお伺いし、懐かしい時間を過ごしております。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	起床から就寝まで、一人一人の生活パターンを尊重し、入居者のペースで支援しております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族からの聞き取りにより、生活歴や暮らし方等、より詳しいアセスメントシートを作成、生活歴や嗜好、既往歴など職員全員が把握するようにしています。		
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	月一度のミーティングや定期的にサービス担当者会議を開き、現在の状態確認を行なっています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	担当職員が、ご本人様と作成した介護計画をミーティングの際に話し合い、職員同士の意見交換を行なっている。ご家族からの情報や、意見もお聞きし、主治医との連携も取りながら、ご納得して頂けるようにしております。		
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	サービス担当者会議において現状の把握、確認、見直しを行っております。また、毎月のミーティングにおいても、状態の変化により、現状把握に努め介護計画の見直しを行っております。		
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録は日勤は黒、夜勤は赤、医療面は青、面会は緑にて色分けして記録しています。入居者様一人ひとりの特徴や変化を具体的に記入し、サービス担当者やミーティングにおける資料にしております。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご本人様やご家族の状況に合わせ、受診の付き添いを行っております。ご本人様が外泊する時などは、現在までの状態等、詳しく説明を行っております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域や校区の民生委員さんも定期的に訪問していただき、近所の方も時々見学に来られます。中学の福祉施設体験を毎年受け入れております。		
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	口腔ケアや訪問理美容、訪問エステ等、入居者様のご希望により、受けて頂いております。		
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	毎回、包括支援センターの担当者の方には、運営推進会議に出席して頂くとともに、必要に応じて、指導や支援の要請をしています。		
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約時に主治医についての了承を得た上で、2週に一度の往診と、24時間の連携体制を整えています。また入居前からの主治医との関係を継続出来るように支援しております。		
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	ご家族、主治医、職員との話し合いの上、主治医よりご紹介の専門医への受診、相談を受けております。		
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	毎日のバイタル測定等の値を報告する事で、医療連携先の看護職員が常時入居者様の健康状態を把握していただく体制を整えています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
49	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
50	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
51	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	入居者様の希望や関心、嗜好を見極めその方に合わせた声かけ、表情から思いが読み取れるよう、支援し、ご自分で選択出来るよう支援しております。		
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床、食事、入浴等のリズムは入居者様にお聞きし、その時にの入居者様の気持ちを大切に希望に合わせているようにしています。基本的におおまかなのは一日の暮らしの流れはありますが、過度な介助や促し、行動の制止をせず、個別に対応し、本人のペースで生活出来るようにしています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	一人ひとりの個性、希望、生活暦等を考慮しながら、毎日の起床時、髪型や服装等、身だしなみやおしゃれをさりげなく助言し、支援しております。又、ご家族の希望やご本人様の希望に応じ、訪問理美容を利用しております。		
56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その日食べたい物を入居者様にお聞きしながら、メニューを決めています。時には入居者様と買い物に行ったり、旬の物を教えていただいたりしています。食器の片付けや、食器拭きも入居者様と一緒にしなごらしてあります。リビングにて一緒にしなごらしてあります。リビングにて一緒に食べてありますが、食事が難しい方等は居室で1対1で付き添ったり、時間をずらす等の対応をし、皆が食事を楽しんでいただけるようにしています。		
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	栄養のバランス等、入居者様の好みや嗜好品を良く把握し、日常のおやつ、間食等に好みのものをお出ししております。レクレーションやバーベキューの時等、雰囲気に合わせてお酒もお出ししております。		
58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	毎日、全入居者様の排泄チェック表を付けています。一人ひとりの排泄パターンを把握しながらさりげない促し、誘導を行っております。オムツ、リハビリパンツ、パット、下着等、入居者様の状態、体調の変化に合わせて下着との使い分けをしなごらして排泄の自立に向けた支援をしております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
60	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
61	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		
62	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>		
63	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>		
64	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族や知人等の方々からの電話は必ずご本人様とお話が出来るよう支援しております。また、お手紙等、ご自分で書かれる方、書けない方等を考慮し、年賀状等で支援しております。		
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも気軽に来苑して頂けるよう、雰囲気作りに心掛けております。この方の日常の現在の状況等をお伝えしながらも、気兼ねなくその方に接していただけるよう配慮しております。		
(4) 安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	運営本部は各苑の管理者による身体拘束廃止委員会を設置し、拘束しないケアについて正しい理解を得るため、月1回程度の会議を行っております。又事業所のおいても身体拘束廃止委員会を設置し職員等の正しい理解に努めております。		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関にセンサーをつけ、チャイムが鳴るようにはしていますが日中は鍵をかけておらず、職員が常に見守りをし入居者の安全に気を配っております。		
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	居室、リビング、苑庭等職員同士が常に入居者の所在を把握しながら安全確認を行っております。		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	薬や洗剤、包丁、はさみ等は安全に管理出来る場所にて保管し必要時はその方の状況を十分に把握しながらの提供を行っております。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	社内研修や勉強会により、知識の習得を図り想定される事故等の検討をしております。又事故が発生した場合は、事故報告書を作成し事故原因や今後の対策について検討を重ねております。		
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	ミーティングや研修にて急変時事故発生時の対応についてマニュアルを作成し、緊急時に職員が慌てずに確実かつ適切な対応が出来るようにしております。主治医との連絡の常時可能な体制となっております。		
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回の避難訓練を実施しています。地区の防災訓練にも参加したり、町内会の総会で町内会長様が協力を呼びかけてくださり、町内の役員さんも快く同意してくださっています。夜間を想定しての避難訓練も実施しました。運営推進会議においても理解を深めていただいております。		
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	入居者様の御家族の面会も多いこともあり、日ごろよりご家族の方とのコミュニケーションを図り入居者様一人一人に予測されるリスクなど、管理者及びスタッフにより説明させていただいております。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	ひとり一人の日常生活での状態の変化を把握し、体調の変化に異常が見られる場合は速やかに管理者、主治医に連絡し指示を受けております。また、スタッフ間においても常に口頭が連絡帳により申し送りを徹底しております。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	社内研修会や居宅療養管理指導を受けることにより薬の効能や副作用、服用方法について理解をするようにしております。また、服用時は誤薬しないようにスタッフ同士で日時、時間、名前の確認をしております。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日のメニューなど繊維質の多い食材や乳製品をとり入れ、便秘予防に努めております。日中は少しでも体を動かすようその方にあわせた散歩やレクリエーションを促していおります。		
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、歯磨き、口腔スポンジなどにより口腔ケアを行っております。週に1度は歯科衛生士による口腔ケアも行なわれ口腔内の清潔の保持に努めています。		
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分摂取量は入居者様、個々に記録、把握し体調管理につとめています。食材や調理方法、盛り付けなども個別に対応しています。食事量が減っている入居者様には必要な栄養をとっていただけるように御家族と相談しながら栄養補助食品を利用しています。		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	運営本部は感染症マニュアルを作成し、社内研修などによりその対応を職員全員が徹底できるよう常に予防対策に努めています。		
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板、布巾、包丁などについては毎晩の夜勤者が除菌を行っております。食材においては賞味期限、消費期限内に使用し長期保存は冷凍にて行なっています。		
(1)居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	駐車場に看板や掲示板を設置したり、門の周囲や庭、柵には花壇や鉢植えで季節ごとに花を植え、親しみやすい雰囲気作りをしています。また、玄関から門へは手すりを設置し安全に歩行出来る様に工夫しております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	苑の門から玄関までの通路には季節の花や庭木を植えており、季節感を味わっていただけるようにしています。その花や木を玄関やリビングに飾ったり廊下には入居者様の写真や作品を飾りそれを見ながら皆で楽しんでます。居室の整理整頓にも心がけています。		入居者様と一緒に花を植えたり、廊下を季節感のある入居者様の作品で飾ったりしてさらに楽しい空間を作って行きたいと思っております。
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂のテーブルセットのほか居間のソファ、廊下の椅子、玄関脇の椅子を用意し入居者様が思い思いに過ごせるように配慮しております。苑庭にもベンチやテーブルを用意し日光浴をしながらティータイムを過ごせるようにしています。		
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様の居室には馴染みの物や使いなれた家具など入居者さまの御家族と相談しながら配置し小物の置く場所など工夫しています。日中の天気の良い日は窓を開け換気も十分にしています。		
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがなく換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気は随時行っています。居間や廊下など全居室にも湿度計、温度計を設置し適切な湿度、温度が保てるように加湿器も設置しておりますが毎日こまめに水の入れ替え掃除を行っています。		
7				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	浴室、トイレ、廊下など手すりを設けております。特に浴室にはすべり止めマットをシャワーチェア、浴槽台を設置し安全に不安なく入浴できるように努めております。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	認知度の高い入居者様にゆっくりと話しかけたり、その場その時の状況を把握していただけるよう不安にならないように接しています。		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	苑庭には花壇がありベンチなどに座っていつでも日光浴が楽しめるようにしています。また、苑庭でバーベキューをしたり花火大会や餅つきなどその季節に応じて入居者様が楽しめるようにしています。		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
100	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)